



10月は3R推進月間です

ごみの減量の合言葉として定着している「3R」。Reduce=ごみを減らす、Reuse=再使用する、Recycle=資源として再利用する の頭文字をとった言葉です。ごみの問題は、普段の生活に深く関わっている身近な環境問題です。来月10月は3R推進月間です。月間中、3Rをさらにすすめていくため環境省、経済産業省、各自治体等が「環境にやさしい買い物キャンペーン」を行います。



買い物でごみの減量

「環境にやさしい買い物キャンペーン」では次のことが推奨されています。

- ①こまめに買い物袋を持ち歩く、②包装はできるだけ少ないものを選ぶ、③容器は再使用できるものを選ぶ、④長く使えるものを選ぶ、⑤資源やエネルギーの消費が少ないものを選ぶ、⑥再生品を選ぶ

環境省HPより http://www.env.go.jp/recycle/circul/3r_gekkkan/index.html

普段から行っていることはどのくらいありましたか?①に関しては、最近レジ袋を有料にしているお店もあり、「マイバッグ」を持ち歩いている方は多いのではないのでしょうか?

また、②~④からもわかるように、まずは「ごみになるものを買わない」ことが大切です。個包装のものは避けたり、詰替えのある製品を選ぶなど、ちょっとした工夫でごみは減らせます。容器や包装だけでなく、例えば食品も、買いすぎてごみになった…なんてことがないようにしたいものです。

ごみは少ないのが一番ですが、出してしまったごみはしっかり分別しましょう。分別することで、資源のリサイクルができます。横須賀市の分別にある、「容器包装プラスチック」や「缶・びん・ペットボトル」も資源ですね。

「環境問題」というと難しいイメージもありますが、普段の生活の中でも気軽に取り組むことができます。また、一人ひとりの取組は小さくても、それがまち全体、市全体、国全体と広がれば、とても大きな動きになります。



裏面には季節の生き物図鑑「秋の海岸に咲くイソギクとワダン」の掲載があります。



秋の環境学習講座などのお知らせ

横須賀市自然・人文博物館

特別展示「よこすか大地と生命の歴史」

日時 10月20日(土)から1月20日(日)
場所 横須賀市自然・人文博物館

博物館フォーラム「自然の探究」

日時 11月4日(日) 13:00~16:30
場所 横須賀市自然・人文博物館講座室
内容 自然に関する研究活動を行っている市民と学芸員が日頃の成果を発表。
定員 100名(先着順)

博物館教室「バードウォッチング入門」

日時 12月2日、16日、1月13日、27日(日)
9:30~12:00
場所 横須賀市自然・人文博物館、野外
定員 20名(対象制限無)
締切 11月17日(土)



申込 希望者は、往復はがきに行事名・参加希望者全員(家族に限る)の住所・氏名・年齢・電話番号を往信面に、ご自分の住所・氏名を復信宛名面に記入し、博物館へ。希望者多数の場合、市内在住者を優先。野外の催しは保険料50円が必要です。

問合先 横須賀市自然・人文博物館
〒238-0016 横須賀市深田台95
電話824-3688

市民大学後期講座(全25講座)

「竜巻 ~その実態と対策~」

日時 1月19日(土)、26日(土)、2月16日(土)
23日(土) 全4回
10:00~12:00

場所 生涯学習センター(まなびかん)
講師 小林 文明(防衛大学校教授)
内容 今年5月に発生した巨大な竜巻。このような竜巻は日本のどこで発生してもおかしくありません。本講座では、竜巻の被害を紹介し、その構造や対策などを学びます。

定員 80名
受講料 2,000円
締切 9月24日(月)
応募方法 ハガキ、電話、インターネット、窓口のいずれか
応募・問合先 (公財)横須賀市生涯学習財団
TEL046-822-4873

詳細は生涯学習センター ホームページまたは市民大学募集要領をご覧ください。
<http://www.mmjp.or.jp/shogaigakushu/>



(独)水産総合研究センター

中央水産研究所 一般公開

水産業と海や魚についての研究を発表する年に一度の一般公開です。「未来へ繋ごう水産資源」をテーマに、子どもから大人まで楽しみながら学べる展示を用意しています

日時 10月20日(土) 10:00~16:00
場所 独立行政法人水産総合研究センター 中央水産研究所
(横浜市金沢区福浦2-12-4)

内容 研究紹介パネル、チリメンモンスターを探せ、ちくわ作り体験、東京湾の魚水槽展示、調査船蒼鷹丸の見学等

申込 事前申込は不要(調査船の見学は当日先着順)
問合先 独立行政法人水産総合研究センター 中央水産研究所
電話 045-788-7615
E-mail nrifs-kiren@ml.affrc.go.jp

資源循環推進課 ごみトーク・子どもごみ教室

内容 ごみの分別や減量について、DVDやクイズを交えながら出前トークを行います。子ども向けには、「分別体験」を交えた子どもごみ教室を行っています。

対象 町内会やPTA等、概ね10名以上のグループ(子どもごみ教室は小・中学校、高等学校が対象)

費用 無料。会場の確保は各自でお願いします。

問合先 横須賀市資源循環課資源循環推進課
〒238-8550 横須賀市小川町11
電話822-8230



「自然ふれあい楽校」オータムフェスタ2012

秋空の下、「めぐりの森」のゆたかな自然と仲よくなろう!

	11月	プログラム	時間	募集対象/人数
①	23日(祝)	「だるま森のがっきやさん」の音あそびワークショップ	14:00~15:30	子ども~おとな30人
②	23日(祝)	夜の自然観察会~野原と星空~	16:30~19:30	子ども~おとな20人
③	24日(土)	「前田川」完全踏破~晩秋編~	9:30~15:00	小学4年生以上20人 (3年生以下は保護者同伴)
④	25日(日)	つる草や木の実で森のクラフト教室	10:30~14:00	子ども~おとな30人
⑤	25日(日)	竹細工教室「篠笛」づくり	13:00~16:00	小学5年生以上10人

場所 湘南国際村めぐりの森、湘南国際村センター

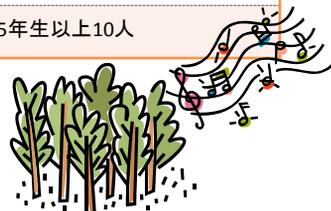
費用 ①~④ 500円、⑤ 1,000円

申込期間 10月15日(月)~11月15日(木) *定員になり次第締め切り

申込 内容番号(①~⑤複数可)と〒・住所・氏名・年齢・電話・FAXを往復はがき、メール、FAXのいずれかで送信

問合先 三浦半島「自然ふれあい楽校」

〒240-0105 横須賀市秋谷4575-2 野崎方 E-mail miurafureai@gmail.com TEL・FAX 046-857-8636



エコ活動みつけた

横須賀市で環境に関する活動をしている団体をご紹介します。第1回は横須賀ECO大賞で大賞、地域部門賞、学校部門賞をそれぞれ受賞した団体です。

すかっ子セミナー自然系A&Dコース

(第2回横須賀ECO大賞)

すかっ子セミナーは、「小中学生の土曜体験プログラム」として、市内の活動団体が子どもたちを対象に平成14年から行っている活動です。

自然系Aコース「川ガキ探検隊」は、三浦半島の川を舞台に活動しています。水質・水生生物調査を行ったり、川遊びを通して豊かな自然を体感しています。

自然系Dコース「海っ子・山っ子・もういっこ」は、三浦半島の海辺や丘陵を歩き・遊び、自然を体験する途中自然の恵みである「もういっこ」のなにかを見つめます。



豊かな自然を体感!

今年の「すかっ子セミナー2012・自然系A&Dコース」は小学校1年生から6年生まで、26名で元気に活動しています。

11月18日(日)午後1時から、ウェルシティ2階市民ホールで“すかっ子セミナー”参加者全員による合同発表会を行います。

連絡先 藤沢(すかっ子セミナー事務局)
電話/FAX 046-823-1965

市立馬堀中学校

(第2回小中学校部門賞)

馬堀中学校では、平成18年から小・中学生、地域住民、PTAや校友会(卒業生)と共同で「ホタルの里づくり」を行っています。毎月2回土曜日には実行委員会を開催し、作業を行います。

時期に合わせた作業を行いながら、ホタルの住める水辺環境を整えています。夏には観察会を開催して、地域へホタルの里を開放しています。



楽しみながらみんなで活動

また、ホタルだけではなく、畑で野菜の栽培・収穫なども行い、自然の恵みを感じる活動を行っています。

今年もたくさんのホタルが飛び交う姿を見ることができました。ホタルが棲みやすい環境を、みんなで楽しくつくっていくことが、私たちの活動のモットーです。

連絡先 市立馬堀中学校

電話 046-841-4007

*活動を記した「ホタルの里通信」は、馬堀中学校のHPからご覧いただけます。

よこすか市民会議 1000年の森を守る会

(第3回地域活動部門賞)

「よこすか市民会議 1000年の森を守る会」は、緑をつくり育て守る活動を通して、緑のある住みよい街づくりに貢献することを目的として、平成13年度から活動しています。

主な活動の一つである植樹活動では、三浦半島に自生するタブ、シイ、カシ等のどんぐり拾いから、播種、育苗、植樹、下草刈りの一連の作業を行います。平成16年からは横須賀まちかど里親制度に参加し、衣笠山公園で、枯れた竹や密集した竹の伐採や下草刈りを行い竹林の整備を行っています。そこで出た竹材を使った竹細工は会員同士で楽しむ他に、子どもたちに竹細工づくりを教えています。



緑をつくり、育て、守る

連絡先

諏訪(1000年の森を守る会代表)

電話/FAX 046-852-6208

E-mail yoshiro@vsc.net

お知らせ

「花王・みんなの森づくり活動」 環境活動団体への助成のお知らせ

部門：①「森づくり活動」分野

②「環境教育活動」分野

助成期間：2012年3月～2015年3月

助成金額：1・2年目 50万円、

3年目 25万円(上限)

募集期間：2012年10月31日(木)まで

問合せ：財団法人都市緑化機構

電話 03-5256-7161

詳細は(財)都市緑化機構HPをご覧ください。

<http://urbangreen.or.jp/ug/>

「民有地緑化支援制度」みどりの街なみづくり補助金

横須賀市では、市街地の目に見える「みどり」を増やし、うるおいある街なみづくりのため、住宅や事業所を緑化する場合、その費用の一部を補助します。

補助対象：市街化区域内の住宅と事業所

(風致地区と緑地協定締結地区は除く)

補助メニュー：樹木植栽、生垣設置、駐車場緑化、屋上緑化、壁面緑化

*各種条件がありますので、申請前に担当へお問い合わせください。

*詳しいパンフレットは、市役所2号館6階環境企画課、行政センター、役所屋、市HPで入手できます。

<http://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/4110/m-hojokin/index.html>

問合せ 横須賀市環境企画課 電話822-8331



市の花ハマユウは分布の北限地である天神島の名とともによく知られていますが、ハマユウとともに三浦半島を代表する植物にイソギクとワダンがあります。色鮮やかなじゅうたんを敷いたように海岸一面を緑と黄色に染めるイソギクと、大きく広がったロゼット葉に小さなタンポポをつけたようなワダンを觀賞しながらの海岸の散歩は、横須賀ならではの秋の楽しみのひとつです。

日本列島の海岸には、北にハマギクやコハマギクが、西にシオギクやノジギクなどがあって、地域ごとにさまざまなキクがすみ分けています。イソギクは静岡県御前崎から伊豆半島、三浦半島を経て、房総半島、千葉県犬吠崎までと伊豆諸島に分布しています。

ワダンの仲間も伊豆半島以西にはアゼトウナ、さらに中国地方から西南にはホソバワダンが分布し、西南日本の海岸を3種がすみわけています。ワダンは三浦半島では長者ヶ崎と野比海岸から南の海崖に見られ、かつては伊豆半島東海岸や真鶴半島にも分布していたそうですが、今では見られず、県内では三浦半島が唯一の産地です。このほか、房総半島南部と伊豆諸島だけに分布しているので、イソギクよりもさらに分布域が限定された希少な植物です。

イソギクの花弁はふつう目立ちませんが、栽培のキクと交配したものでは白や黄色の目立つ花弁をつけるため、ハナイソギク、サトイソギクなどと呼ばれます。ウラジロギクの名もあり、葉の裏と縁が銀白色の毛でおおわれ、そのため葉は白い縁取りが鮮やかで、花だけでなく葉も美しい植物です。ワダンの丸く大きく地際に広がったロゼット葉は、球にならないキャベツや白菜を思わせます。

イソギクは文字通り「磯に咲く菊」ですが、ワダンとは変わった名前です。ワタナがなまってワダンになったと考えられています。ワタは、「わたつみ（海神）」の“ワタ”で海の古語、“ナ”は菜ですので、ワダンは「海の菜」を意味します。イソギクとワダンは分布の中心が三浦半島であるというだけでなく、その名も海岸植物であることをきっぱりと示し、海の恵み豊かな三浦半島を代表する植物といえます。



(写真①)イソギク



(写真②)ワダン
①、②いずれも11月上旬

(横須賀市自然・人文博物館 大森学芸員)

◎植生調査を行っています

横須賀市環境企画課自然環境担当では、横須賀植物会、自然・人文博物館の協力により、市内の海岸（海浜）植物の調査を行っています。調査によって、残された自然海岸の植生状況を把握し、今後の保全検討の資料とします。調査期間は平成24、25年度の2年間、春・夏・秋・冬の各季節に行います。この調査結果は、市のホームページで公開を行う予定です。

みなさまからのECOな情報も募集してます。

発行：横須賀市・環境教育・環境学習ネットワーク会議 協力：横須賀市自然・人文博物館
（発行元）〒238-8550 横須賀市小川町11番地 横須賀市環境政策部環境企画課
TEL 046-822-8327 FAX 046-821-1523

E-mail: ep-ep@city.yokosuka.kanagawa.jp

この情報誌は、横須賀市環境教育・環境学習ネットワーク会議のトライアル事業の一環として発行しております。「環境教育・環境学習ネットワーク会議」とは、市民・事業者・学校・行政等のさまざまな主体が集まり、連携して市内全体の環境教育・環境学習の推進を図るための会議です。

